

公募型プロポーザル回答書

2023年5月15日

業務名	対象資料	該当頁・項番	Q&A	神河町上下水道公営企業会計システム更新業務
1	実施要領	P2 7 (9)	Q	ISO 9001は、①一貫した製品・サービスの提供 ②顧客満足度の向上を進めていくための規格であり、当社では「品質向上委員会を設置し、製品・サービス提供における品質状況の確認・改善」や「全国のユーザより集約した意見をもとに、バージョンアップを都度実施」を行うことで同等の成果をあげるよう努めておりますため、今回の参加資格を満たしているものご判断いただけませんか。
			A	満たしていると判断する。
2	基本仕様書	P2 5条	Q	「クライアントは職員端末を利用し、ブラウザを用いてシステムを運用する。また、職員端末では他の業務システムも動作していることから、システム以外のアプリケーションやアドオンの追加は認めない（Office、Adobe Readerを除く）」とございますが、当社システムでは現在も導入されている「BizBrowser」及び「SVFforWebClient」というソフトウェアをインストールする必要がございます。このソフトウェアは既存の端末及び病院事業様の端末でもインストールされており他システムの動作に影響はないものと考えております。また、他自治体様ではこのような場合に事前に問題がないかテストをさせていただき、問題がないことをご確認いただいております。今回のご提案において「BizBrowser」及び「SVFforWebClient」のインストールをお認めいただけませんか。
			A	事前に問題が無いかテストをし問題がないことを確認できれば可とする。
3	基本仕様書	P2 6条	Q	「入退室には、ICカードによる認証のほか、静脈認証等の生体認証がされている。」とありますが、建物の入退室において生体認証があれば、要件を満たしていると考えてもよろしいでしょうか。
			A	よい。
4	03.システム機能仕様書及び 04.プロポーザル様式		Q	システム機能仕様書及び様式類を編集可能なファイル（Word,Excel等）でいただけますでしょうか。
			A	HPにアップする。
5	プロポーザル参加表明書兼誓約書		Q	商業登記簿謄本の提出を求められておりますが、こちらは履歴事項全部証明書でも問題ございませんでしょうか。
			A	可とする。

6	機能仕様書	5	Q	データベースソフトとして対応可能であれば、◎回答としてよろしいでしょうか。
			A	可とする。
7	機能仕様書	17	Q	既に電子決裁の実績がある等、実現可能なものとして想定されている必要があると考えてよろしいでしょうか。
			A	よい。
8	機能仕様書	31	Q	予算額のない科目も表示されますが、選択したのちに予算がないことを警告される動きとなっておりますため、対応可能（◎）としてよろしいでしょうか。
			A	可とする。
9	機能仕様書	41	Q	調定の場合は1つの予算で様々な仕訳が検討されるため、候補の仕訳一覧から選択することで対応可能（◎）としてよろしいでしょうか。
			A	可とする。
10	機能仕様書	42	Q	過去の伝票を参照登録する機能があります。また、振替や調定収納については、当該機能を備えておりますが◎としてよろしいでしょうか。
			A	可とする。
11	機能仕様書	58	Q	取引先マスタの更新については、権限設定が可能ですが、一時相手先については、スポット入力ができるよう権限設定はしない動きとなっております。こちらで問題ないでしょうか。
			A	よい。
12	機能仕様書	128	Q	元帳の性質として、変動はなくても残高があるものは表示する必要があると考えてよろしいでしょうか。また、出力条件として除外指定とありますが、残高および選択期間中の変動がゼロの科目を表示する必要はありますでしょうか。
			A	残高があるものは表示する。 どちらでも可とする。
13	機能仕様書	147	Q	神河町様においては、上下水道ともに今後も課税売上額が五千万円を下回ることはないと考えておりますので、簡易課税方式への対応はしていなくても問題ございませんでしょうか。
			A	今後、広域で共同使用することを見込み簡易課税方式の対応も必要と考える。
14	機能仕様書	148	Q	「消費税算出表、消費税申告書（付表1～5を含む）」とは、「国税庁様式の「計算書1～5」、確定申告書の「第1表」「第2表」、付表の「付表1-1」「付表1-2」「付表1-3」「付表2-1」「付表2-2」「付表2-3」と考えてよろしいでしょうか。
			A	よい。
15	機能仕様書	160	Q	借方マイナス貸方表示の対象は残高試算表と考えてよろしいでしょうか。もし、他に対象の帳票がございましたらご教示お願いいたします。
			A	よい。
16	機能仕様書	178	Q	登録画面上、登録状況をあらわすステータスを表示することでよろしいでしょうか。
			A	よい。
17	機能仕様書	194	Q	キャッシュ・フロー計算書の前年比較は、過去年度を指定し、出力いただくことでよろしいでしょうか。
			A	よい。

18	機能仕様書	203	Q	「経理上の当該年度の発生受入額を会計執行額より引用できること。」とありますが、会計執行額からは科目ごとの総額が受け入れられますが、それを各取得資産へどう引用するのか具体的なイメージをご教示いただけませんか。（収入伝票ごとに収入する時点でその財源を配布する固定資産が決まっており、その資産に紐づけすることができる等）
			A	決算時に各固定資産に財源を紐づけできれば良い。
19	機能仕様書	215 216	Q	備考欄にはどれぐらいの情報を入力される想定でしょうか。また、固定資産明細表出力時に手入力される想定でよろしいでしょうか。
			A	手入力で貴社の制限文字数まで可。
20	機能仕様書	219	Q	会計とは下水道事業のセグメントと考えてよろしいでしょうか。
			A	よい。
21	機能仕様書	220	Q	本登録前とは、登録後に訂正できる状態と考えてよろしいでしょうか。
			A	よい。
22	機能仕様書	221	Q	みなし償却については制度が廃止されておりますが、今後発生が想定される条件についてご教示いただけませんか。
			A	制度廃止のため、考慮しなくてよい。すべて◎として計上すること。
23	機能仕様書	258	Q	「日数方法（片日）」はどちらからの借入を想定されておられますでしょうか。
			A	借入先は特定していない。各日の設定が出来るかどうかを記載願います。
24	機能仕様書	270	Q	表間突合を会計システム内で行う場合、会計システムとして保持していない項目については、会計システム内に入力項目を準備し、その項目に手入力したうえで表間突合を行う想定だと考えてよろしいでしょうか。
			A	よい。
25	機能仕様書	203	Q	項番212とあるが、202の間違いではないか？
			A	間違いである。正：202
26	実施要領基本仕様書	P6 P2	Q	実施要領におけるシステム機能仕様書評価では、対応不可のものは-3点として評価されるとのことですが、仕様書2ページの第4条では「パッケージ標準で対応できない機能については、カスタマイズで対応すること。」とあります。これは、機能仕様書については「×（対応不可）」の回答は不可であり、カスタマイズでの対応が必要があるという認識でよろしいでしょうか（「×」と回答した場合、失格となるという認識でよろしいでしょうか）。
			A	基本仕様書の第4条を次の通り変更する。 また、各処理の機能の詳細については、別紙1「システム機能仕様書」を確認し、 すること。 パッケージ標準で対応できない機能については、カスタマイズで対応すること。 「×」と回答した場合も失格とはしない。
27	機能仕様書	P4	Q	データ活用及び分析等を行う機能については、データベース側ではなくシステムアプリケーション側で行うことを想定しておりますが、◎回答としてよろしいでしょうか。
			A	よい。
28	機能仕様書	P88	Q	記載されている帳票とは異なる名称になりますが、同等の情報を確認することで、◎回答としてよろしいでしょうか。
			A	よい。

29	機能 仕様書	P130	Q	『摘要』を用いて、総勘定元帳内訳簿や予算執行整理簿を出力して、どういった業務に活用されておりますでしょうか。
			A	『摘要』に入力した同じ施設ごとの収支の集計に活用したい。
30	機能 仕様書	P147	Q	簡易課税計算については、計算書処理パターンが多く事業種類によっても変わるため、専用の計算ツールをご提供することで、◎回答としてよろしいでしょうか。
			A	よい。
31	機能 仕様書	P237	Q	データの誤登録を防ぐため、本データへの移行はしない動作としておりますが、本データ登録をCSVファイルの一括取込で行うことができ、登録作業の負荷軽減が可能であるため、◎回答としてもよろしいでしょうか。
			A	よい。
32	機能 仕様書	全体	Q	Excel形式でHPにアップしていただきましたが、C列の確認区分リストが表示されておりませんので改めてご教示いただけませんか。（別ファイルを参照する設定になっているため）
			A	再度HPにアップする。